

みずほCustomer Desk Report 2025/03/21 号(As of 2025/03/20)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	148.47	1.0912	162.00	1.3012	0.6363
SYD-NY High	148.95	1.0917	162.12	1.3015	0.6364
SYD-NY Low	148.18	1.0815	160.83	1.2937	0.6271
NY 5:00 PM	148.77	1.0853	161.47	1.2968	0.6303
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,953.32	▲ 11.31	日本2年債	-	-
NASDAQ	17,691.63	▲ 59.16	日本10年債	-	-
S&P	5,662.89	▲ 12.40	米国2年債	3.9636%	▲0.0108%
日経平均	-	-	米国5年債	4.0145%	▲0.0088%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.2398%	▲0.0059%
シゴ日経先物	37,530.00	▲ 190.00	独10年債	2.7775%	▲0.0205%
ロンドンFT	8,701.99	▲ 4.67	英10年債	4.6495%	0.0190%
DAX	22,999.15	▲ 288.91	豪10年債	4.3620%	▲0.0610%
ハンセン指数	24,219.95	▲ 551.19	USDJPY 1M Vol	9.61%	▲0.07%
上海総合	3,408.95	▲ 17.48	USDJPY 3M Vol	10.11%	▲0.00%
NY金	3,043.80	2.60	USDJPY 6M Vol	10.07%	0.04%
WTI	68.07	1.16	USDJPY 1M 25RR	▲1.33%	Yen Call Over
CRB指数	307.41	1.10	EURJPY 3M Vol	10.40%	▲0.00%
ドルインデックス	103.85	0.42	EURJPY 6M Vol	10.28%	0.01%

東京	アジア時間のドル円は148.47レベルでオープン。東京市場が休場の中、軟調なアジア株式の推移を横目にドル円も上値重く推移。その後も特段材料に乏しい中、小幅なレンジ内の推移となり、148.20レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.20レベルでオープン。前日のFOMCを消化し、ドル売りに一服感が出る中、欧州時間はドル円も買戻しが優勢に。148円台後半まで値を戻し、148.47レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2996レベルでオープン。朝方発表された英1月雇用統計は市場予想通りの結果となったことで特段材料視されず、他通貨同様ドルの買戻しが進み、ポンドドルも1.2937まで下落。その後、BOEの金融政策委員会では市場予想通り政策金利の据え置きを発表も、据え置き8対利下げ1と予想よりも効派寄りの投票結果となったことで反発し、結局1.2947レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、148.47レベルでオープン。米新規失業保険申請件数が予想を下回った事を受け、米労働市場の底堅さを好感した買いが優勢となり、148.95まで上昇する。午後は上昇していた米株が反落する展開を受け伸び悩み、148.70付近まで反落。その後も148.70付近を中心とした狭いレンジ推移が続き、148.77レベルでクローズ。一方、NY市場のユーロドルは、1.0849レベルでオープン。朝方に1.0815まで値を下げる場面もあったが、その後独金利が反転上昇する展開を受け買い戻され、1.0850付近まで反発。午後も高値圏での値動きが続き、終盤にかけては1.0858まで上値を伸ばし、1.0853レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 武藤・鈴木

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月19日	-	日 日銀 金融政策決定会合	3月 0.50%	0.50%
3月20日	03:00	米 FOMC 政策金利	3月 4.25%-4.50%	4.25%-4.50%
	09:30	豪 雇用者数変化	2月 -52.8k	30.0k
	09:30	豪 失業率	2月 4.1%	4.1%
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	2月 -0.2%/0.7%	0.2%/1.0%
	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	1月 5.9%	5.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	15-Mar 223k	224k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	3月 12.5	9.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	2月 4.26,m	3.95m

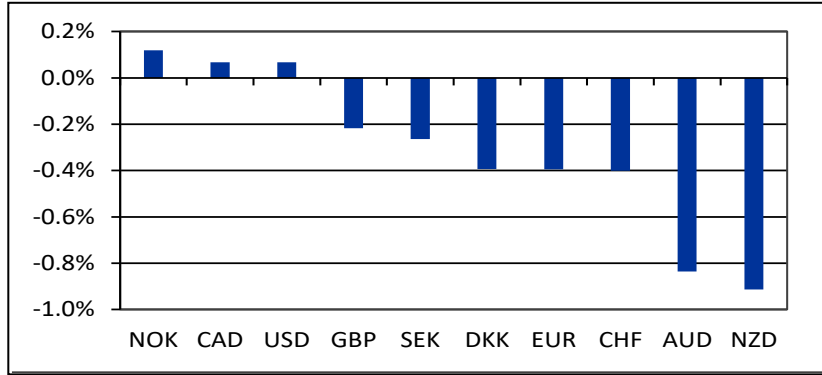
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月21日	08:30	日 全国(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	2月 3.5%/2.9%/2.6%	4.0%/3.2%/2.5%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	3月 -20	-20
	21:30	加 小売売上高(前月比)	1月 -0.4%	2.5%
3月22日	00:00	欧 消費者信頼感・速報	3月 -13.0	-13.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.80-149.30	1.0750-1.0900	160.20-162.20

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は上値重い展開を予想する。18-19日の日程で開催された日米の金融政策決定会合では、日銀側には大きなスタンスの変化が見られなかった。一方で、FRB側は声明文においてQTのペース減速を明記したことや、経済成長見通しを引き下げる等ややハト派な姿勢が見受けられた。またパウエルFRB議長は会見では、米景気の悪化懸念とトランプ政権の関税政策に起因するインフレ再燃は現時点では重大なリスクとは判断していないと発言している。ただし、依然として市場の不透明感が高く、足許では米株式相場は伸び悩んでおり、米金利も低下している。さらに昨日トランプ米大統領によってFRBの利下げを促すような発言がなされたこともドル円相場の重しとなろう。

担当: 武藤・鈴木